

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和46年度～			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	04 安全で安心して暮らせるまちづくり
	小項目	施策	02 消防・防災
事務事業名		10 非常備消防車両管理事業	消防組織法
			担当事務課(室) 総務課
			職・氏名 消防防災係長 大西武志
			電話 64-1809

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	消防団
目的(何のために)	消防団の消防車両を維持、管理することにより、災害時の円滑な団活動を図る。
行政活動(どのような方法で)	消防車両の維持管理費
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	招集時の車両不具合の確認

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
消防車両台数	台	57	57	57
直接事業費	千円	5,395	6,634	5,666
必要人員人件費	千円	0.24人	0.08人	0.05人
事業費	千円	6,957	7,145	5,974
国・県・市・その他	千円			
受入金	千円			
受入金	千円			
その他	千円			
一般財源	千円	6,957	7,145	5,974
受益者負担比率	%			

結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	消防車両	57	57	57
対前年対比	%	100.0%	100.0%	100.0%
活動コスト	円	6,957,000	7,145,000	5,974,000
単位当たりコスト	円	122,053	125,351	104,807
結果指標②				
対前年対比	%			
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円			

事業の成果				
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
招集時の車両不具合率	目標値(A)	0	0	0
	実績値(B)	0	0	0
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
到達目標年度 毎年度				
成果指標設定の考え方・式や説明				
招集時の車両不具合の申し出車両数÷消防車両数				

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	災害への迅速な対応を行うための消防車両の適切な維持管理は妥当である。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	車検受車両が年度ごとに違うので、コストのばらつきがある。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	達成できているので、このまま維持する。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	57	結果指標量②		成果指標量	0
状況	拡充		現状継続		見直し	○
	縮小		整理統合		休止	
説明	初年度登録から20年前後経過した車両について、ポンプ車2台、可搬積載車7台の買い替えを行う。このことにより、災害出動時の車両不具合を最小限に止める。					

総合評価		評価区分<A~E>
消防車両の維持管理を行う上で、必要最低限の経費であるが、車体が年数を経過し、不具合が生じやすくなっている。財政上更新はなかなか難しいが、管理している消防団の協力により、不具合を生じないよう努めている。		C

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	現体制で維持していく					
	改善がある場合	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		